

【磯子区】令和元年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和元年 6 月 3 日 (月) 11 時 00 分～12 時 00 分
場 所	磯子区役所 4 階研究室
出席者	<p>【座 長】 太田 正孝 議員</p> <p>【議 員：3 名】 加藤 広人 議員、関 勝則 議員、 山本 尚志 議員</p> <p>【磯子区：38 名】 猪俣 宏幸 区長、佐藤 友也 副区長、 新井 勉 福祉保健センター長、 石井 誠一 福祉保健センター担当部長、 長谷川 秀 磯子土木事務所長、 ほか関係職員</p>
議 題	議題 令和元年度磯子区個性ある区づくり推進費の執行計画等について
発言の 要 旨	<p>議題 令和元年度磯子区個性ある区づくり推進費の執行計画等について</p> <p>【子どもの登下校時の安全確保】</p> <p>山本議員 5 月 28 日に川崎市登戸において子どもたちが殺傷されるという 凄惨な事件があったが、磯子区においても様々な取組を行い、子ども たちを守っていかなければならないと思う。教育委員会それから 現場としての学校と、区役所とでは、考え方に乖離がある気がして いる。区役所として、子どもたちの安全を守るというメッセージを 出してほしい。学校・家庭・地域が連携して取り組むということが 大切だと思うが、区として、川崎市登戸の事件を受けてどのように 取り組んでいくのかを発信してほしいと思う。区長の見解を伺いた い。</p> <p>猪俣区長 登戸の事件について、大変痛ましい事故で胸が押しつぶされそう な気持ちを感じた。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りす るとともに、ご家族の皆さんには、心からお悔やみ申し上げたい。 また、怪我をされた方には、1 日も早い回復を願っている。教育委 員会からは、各学校には「通学路等における児童生徒の安全確保に</p>

向けた取組の徹底について」という通知が出ているところだが、区としては、よこはま学援隊や自治会町内会での見守り活動などについて、学校それから地域と情報共有を図っていく。また、学校・警察連絡協議会は、先週の間、警察とも連絡を取り合いながら情報に漏れがないようにしており、区としては、まずは、こういった情報を確認し、何をどこまでやっていくかしっかりと検討し、対応していきたいと思っている。まずは情報共有、それから関係機関と連携をとっていきたいと考えている。こういった事件は、なかなか未然に防ぐことが難しいが、区としても、地域の皆様と一緒に学校を見守っていく、警察あるいは小学校、教育委員会と連携しながらしっかりと行っていくことが、お子様あるいは保護者の方へのある意味メッセージになると考えているのでしっかりと取り組んでいきたい。

山本議員 地域の担い手が大変不足している状況の中で、そういった取組こそ、地域の中で子どもたちを守るきっかけになるとしている。小学校によっては集団登下校を実施している地区もあれば、実施していない地区もたくさんあるが、これをきっかけに考えてほしい。どういう人たちが地域の中で担い手になるかということも区と地域で考え、地域を強くしてほしい。そういった取組を、学校任せにしないでほしい。＜意見＞

【27 地域と一緒に作る安全安心まちづくり事業】

山本議員 家具転倒防止器具について、70歳から65歳まで対象年齢が引き下げられたが、その効果や磯子区の申請状況がどの程度あるのか伺いたい。

寒河江総務課長 市全体の取付件数は、平成29年度には141件だったものが、平成30年度には348件になり、141件から348件と大きく増加している。磯子区の申請状況は、平成29年度3件だったものが、平成30年度は15件と増えている。

山本議員 まだ磯子区の中では浸透していないと思っているが、是非、広く啓発してほしいと思っている。また、トイレパック備蓄啓発が新規事業に位置づけられているが、これも、磯子区全体で広めてほしいと思う。各家庭にどの程度トイレパックの備蓄があれば足りるのか

参考までに教えてほしい。

寒河江総務課長 地域防災拠点への物資供給が始まるのが、発災後3日後なので、それまでの間、1人あたり1日5パック、最低3日間となると、各家庭1人あたり15パックを用意してもらうことを推奨している。

山本議員 最後に、感震ブレーカーについて、私の認識では感震ブレーカーの普及啓発は十分に進んでいないと思っている。特に、磯子区では、木造密集地域があるにも関わらず、感震ブレーカーの普及が進んでいないが、現状について、また、今後どのように進めていくのか伺いたい。

寒河江総務課長 平成30年度に総務局が実施した「横浜市民の危機管理アンケート」によると、感震ブレーカーの認知度は市全体で4割程度。実際に設置しているのは、市全体では3割程度、磯子区では28.3%で、わずかに下回っていると聞いている。

山本議員 調べてみたが、平成30年度では、平塚市・茅ヶ崎市・海老名市・綾瀬市・開成町で補助制度があり、平成29年度の実績として、平塚市が1,234,000円、茅ヶ崎市が1,204,000円などと補助実績がある。磯子区として、こういった補助制度を検討していないのか、また、横浜市としてはどうなのか伺いたい。

猪俣区長 現在、様々な場面で感震ブレーカーを認知してもらい、まずは、その効果を理解してもらいたいと考えている。そういう意味では、防災訓練あるいは講演会などで、感震ブレーカーの効果を理解してもらいながら、補助金制度をつくるのがいいのか、普及に向けて皆様に様々なことを認知してもらうのがいいのか、どういった手法が最も効果的なのか探っていきたいと考えている。総務局でも、感震ブレーカーの取組を行っているので、補助制度を含め、総務局とも連携しながら対応していきたいと考えている。

山本議員 感震ブレーカーについては、自治体によっても評価はまちまちだと聞いている。例えば、夜に作動すると真っ暗闇で、逃げ遅れるのではないかと、あるいは想定よりも早くブレーカーが落ちることによって火災などの2次災害が起きるのではないかなど、自治体によって考えは異なる。横浜市の場合、今のところしっかりと普及を進めるということなので、地域の防災訓練などにおいて、例えば、横浜

防災ライセンスなどにもお願いしながら、普及啓発を進めてほしいと考えている。地域によっては、普及啓発がなされていないようにも思うので、進める以上は成果が出るようお願いしたい。また、防災グッズの一つである地域防災拠点開設キットも、8月に21拠点に配備するとのことなので、これも出来るだけ多くの方々に知ってもらえないと意味がないので、広く普及するために、区長自ら先頭に立って啓発をしてほしい。〈意見〉

【3 磯子駅周辺まちづくり検討事業】

山本議員 今回の資料の中にはバリアフリーという言葉がない。杉田地区でバリアフリーが終わったから、それで終了ということなのか。

佐藤区政推進課長 平成25年度に、杉田・新杉田地区のバリアフリー基本構想を策定し、今年度から磯子駅周辺のバリアフリー基本構想を策定していく予定となっている。合わせて、杉田・新杉田地区の見直しも図っていく。予算については、道路局の予算に約1,000万円計上されていて、区には、10万円程度配付されることになっている。今回の資料には、道路局の予算がメインなので載せてはいないが、今年度から、新たな基本構想に着手する予定となっている。

山本議員 磯子区役所に向かう歩道橋があるが、バリアフリー法に基づく基準であるスロープの勾配で1/15以下を満たしているのか。

荻部土木事務所副所長 第二歩道橋については、バリアフリー法ができる前に設置された歩道橋というのもあり、現基準に照らし合わせると合致はしていない。現在のバリアフリー法では、スロープですと勾配に関する基準や、踊り場を設けなければならないなど、様々な基準があるため、今後、磯子駅周辺の中でも見直しを行っていきたい。

山本議員 この歩道橋を撤去して、抜本的に駅周辺全体のバリアフリー化を図るとするのはどうか。

佐藤区政推進課長 今年度に策定するバリアフリー基本構想の中で、そういったことも含めて検討をしていきたいと思っている。バリアフリー基本構想の策定にあたっては、関係者の方々に構成する区の部会を組織するので、交通事業者や障害者団体、地域の方々にも入ってもらい考えていきたい。

山本議員 磯子駅前の団地側にも歩道橋があるが、エレベーターが設置され

ておらずバリアフリー化されていない。ペDESTリアンデッキのようなものや、エレベーターを設置するなど、検討してもらえればと考えている。また、各関係者の方々と知恵を出し合い、喜ばれるようなバリアフリー化を磯子駅でも進めてほしい。〈意見〉

【駅周辺安全確保事業】

山本議員 19 ページに、放置自転車の対策について記載されているが、調べてみると平成 30 年 11 月の調査で、根岸駅では自転車の収容台数が 1,802 台分あり、利用台数が 2,197 台とのことだが、一方で、新杉田駅では 1,626 台の収容台数があるにも関わらず、1,154 台しか使われていない。また、洋光台駅でも 1,359 台の収容台数があるにも関わらず、1,002 台しか使われていないとのことで、まだまだ空きがある。杉田駅、新杉田駅、洋光台駅にしても、放置自転車がまだまだあるのだから、放置自転車対策にしっかり取り組み、適正に駐輪をしてもらえるよう指導と更なる改善が必要だと思うがどうか。

椎葉地域振興課長 根岸駅、磯子駅の自転車駐輪場は利用希望が多く、定期利用の方も待ってもらっている状況。ただ、その両駅周辺では、費用や用地の問題もあり、現時点では本市で整備できる状況にはないと考えている。そのため、整理員の方が自転車をできるだけ整理したり、区で委託している啓発誘導員も比較的空いている駐輪場に誘導をするなど、局とも連携しながら取組を進めている。引き続き、まずはそういった対応をするとともに、民間駐輪場の補助制度なども活用しながら放置自転車の抑制を図っていきたいと考えている。

山本議員 例えば、民間の土地を借り上げて、民間に委託するというような形をとるなど、適切な駐輪場の整備や駐輪スペースの確保を行ってほしい。また、点字ブロックの上まで駐輪しているケースなども目にするので、そういったことがないよう安全安心を確保するためにも是非お願いしたい。

【1 商店街にぎわいづくり事業】

関議員 商店街について、横浜港に年間 190 回もクルーズ船が入船している。これにより、多くの外国人が市内に降り立つが、今、これを更に増やそうという動きがあり、文化観光局ではバスツアーを企画して、

市内回遊を促している。以前から商店街の賑わいづくりと外国人観光客のインバウンドを絡めたらどうかという話をしているが、何か行動を起こさないと、みなとみらいや元町、伊勢佐木町などのあたりで止まってしまおうと思う。頑張っている商店街、特に、磯子区も含む郊外部の商店街へ、外国の方々に足を運んでももらいたいと考えている。商店街は、ある意味日本の文化だと思っていて、そのことをもっと情報発信していきたいと思っている。もちろん、言葉の壁などあると思うが、例えば、無料アプリなどもたくさん出ているので、そういったものを活用していくこともいいと思う。商店街の方からそんな話がでてきているのか、区役所の方から新規事業として商店街にPRをするなどのやり取りがあるのか伺いたい。

椎葉地域振興課長 外国の方を受け入れるために「是非こうやりたい」といった話は確認できていない。区としても、外国の方が増えている状況もあるので、研究していくべきところだとは思っているが、区商連の方にそのような話を提案するところまでは、現在のところ至っていない。

関議員 言葉の壁などの障害もあるかと思うが、そういったところを和らげていくのも、地域振興という形での連携だと思っている。ラグビーやオリンピックなどを契機に、これから多くの外国人観光客の方がやってくるので、区としても、一生懸命取り組んでほしい。

<意見>

【8 区民スポーツ振興事業】

関議員 東京2020オリンピック・パラリンピックについて、区の事業でもオリンピックは書いてあるが、ラグビーについては触れられていないが、何か予定はあるのか。

椎葉地域振興課長 ラグビーの関係も、気運醸成を図っていきたいと考えている。オリンピック・パラリンピックとも合わせて、磯子まつりの時に、体験型の取組を行いたいと考えており、資料には載っていないが、市民局から別途配付される予算を活用し実施していく。

関議員 どんどん予算を要望してほしい。この機会を逃すのは本当にもったいないこと。ラグビーワールドカップなどの自国開催は一生のうち一回きりだろうし、おそらくオリンピックも同様だと思う。何よ

り、次世代の子どもたちにつなげていくという意味でも大切。まずは、もうすぐ9月にラグビーワールドカップが開催されて7試合も横浜で行われるのだから、積極的に取り組んでほしい。〈意見〉

【区民栄誉賞】

関議員 区民栄誉賞について、ゴルフの黄金世代と言われている原英莉花選手が岡村中学校出身なので、令和最初の区民栄誉賞を出してほしいと思うがどうか。

寒河江総務課長 区の中には国内どころか、世界に名を響かせるだけの方々がたくさんいるので、皆様からの推薦も参考にしながら選考をしていきたいと考えている。

【25 青少年育成活動助成事業】

関議員 青少年育成関連の講演会があり私も参加したが、折角、区で行っている講演会なのだから、もう少し多くの方に聞いてもらえるよう工夫してほしい。忙しい中、磯子区の青少年育成団体のために足を運んでもらった方にも申し訳ないし、やはり良い話は大勢で聞いて地域に伝えていくというのが大切だと思う。我々も協力をするし、また、様々な方々の力を借りつつ1人でも多くの方に聞いてもらえるよう取り組んでほしい。そして、日ごろの青少年の育成事業につなげてもらいたいという気持ちがあるので、何なりと相談をしてほしい。〈意見〉

【29 災害時要援護者支援事業】

加藤議員 災害時要援護者の名簿について、自治会・町内会で、まだ提供してくれてないようなところは、どれくらいあるのか。

清水高齢・障害支援課長 災害時要援護者の名簿については、協定書を締結した上で名簿提供をしている団体が、33自治町内会で、自治会・町内会の総数が169団体なので、20%弱となっている。

加藤議員 名簿の提供は、自治会・町内会に限定しているのか。それとも、それ以外のところにも提供をお願いしているのか。いわゆる、自治会・町内会に加入していない地域にはどういったかたちで提供依頼をしているのか。

清水高齢・障害支援課長 自治会・町内会で連合町内会に入っていない団体もあるので、そういった団体については、未加入団体ということで、今年度は、積極的に働きかけていきたいと考えている。基本的には、自治会・町内会単位で、きめ細やかに相談には応じていきたいと思っていて、昨年度は、連合向けではあるが研修会を開き、積極的に働きかけてきた。今年度は、すでに複数から開催の希望がでてきているので、引き続き、積極的に進めていきたいと考えている。

加藤議員 未加入団体は、いくつあるのか。

清水高齢・障害支援課長 未加入団体は9自治会ある。

加藤議員 今年目標として、未加入9団体になんとか提供していただくようお願いしたい。それから既存の自治会・町内会について、130以上残っている中で、今年は4団体に提供をお願いするのでは、いつになっても提供がなされないと思う。様々な課題があると思うが、要援護者で支援を求めている人からすると、住む地域によって違いが出てしまうのは問題だと思う。子どもの見守りなどは、保護者であるとか、それぞれ責任を持てばいいと思うが、これに関しては、区役所が入り、考え方を変えていかないといけないし、災害が起きてからでは遅いと思うがどうか。

木村福祉保健課長 指摘のとおり、これからどうやって名簿提供を進めていくのかというのは非常に大きな課題だと思っている。昨年、自治会・町内会向けにアンケートを実施したところ、名簿提供は個人情報保護という観点から、非常にハードルが高いという意見があった。そういった意見を受けて、今年度はまず前段階として、バンダナを作成し、配布をしていく。資料の18ページ、「29 災害時要援護者支援事業」の「(1)」の「ア」に記載されているが、災害時に安否確認を円滑に行うための安否確認用バンダナを16,000枚作成する予定となっている。これを、まだ取組が進んでいない自治会・町内会に配布し、まずは、何かしらの取組をはじめてもらうという意識啓発から行っていきたいと考えている。

加藤議員 個人情報でハードルが高いのは分かるが、名簿提供については、区役所がしっかり取り組んでいかないと解決できないと思っている。住んでいる地域の自治会・町内会によって違いが出てしまったら悲劇だと思う。名簿提供を進めてほしいと思っている人も多くい

るという現状を考慮してほしい。区役所としてできることが決まっているのは承知しているが、それを変えていく必要があると思う。区役所が本当にやらなければならないのは、今実態がどうあって、どこにどういう人が何を求めているのかを把握することであって、それさえ分からない状況ではなにもできないと思う。自治会・町内会に任せておけないのであれば、違ったアプローチ方法を考えないといつまで経っても進まない。だから、まだ残っている自治会・町内会が多くあるのに、今年はなんとか4団体に働きかけていくというのはまずいのではないかなと思う。

猪俣区長 我々としても、日ごろの付き合いの中で、区連会を通じて自治会・町内会のみなさんに情報提供しており、また、一つのきっかけとしては、先ほど説明したバンダナの取組、あるいは防災訓練などを通じて、要援護者支援の名簿の重要性をお伝えして、また、理解してもらえるよう様々な方法を使って、区としてもしっかりと取り組んでいきたいと思う。いずれにしても、地域の人々の理解も必要で、今までの地域の皆様との関係も大事にしながら、必要性についてしっかりと説明し進めていきたいので、是非、協力をお願いしたい。

【学校・警察連絡協議会】

太田議員 先ほど山本議員が話していた中で、学校・警察連絡協議会というのは区役所からは誰か参加しているのか。

廣澤学校連携・こども担当課長 毎年2回開催しており、区役所から私どもが出席している。

【3 磯子駅周辺まちづくり検討事業】

太田議員 先ほど、バリアフリー法の話があったが、バリアフリー法に合致していない所がさっき話してもらったもの以外にもあるか。また、調べはついているのか。

佐藤区政推進課長 バリアフリーの基準を満たしていないのは、先ほどの歩道橋、それから駅の東口に出る際にエレベーターが設置されていないといったものもある。まだすべて把握しきれていないが、どこが課題なのかということ調べた上で、バリアフリー基本構想の中で意見をもらいながら対応していきたい。

太田議員 実際にそれをいつやるのか、また、どのような方法でやるのか報告がないと、山本議員の意見に沿わないと思う。次でいいので、しっかりと答えられるようにしてほしい。そうでないと、極めて抽象的に終わってしまう。〈意見〉

【2 区の魅力創出・発信事業】

太田議員 先ほど、関議員から話があったが、外国の方々に磯子区へ来てもらう方法として、磯子区でそういう魅力ある所があるのかなのか、なければつくるのか、つくるならその方法はどのようにするのか検討する必要があると思う。区役所のパンフレットなどで、磯子区の観光地などをすでに広報しているのか分からないが、外国の方々を誘致するのであれば、それに相応しい場所をつくっていかないと来ないと思う。

猪俣区長 磯子の魅力づくりという意味では、様々なことに取り組んでいきたいと考えている。その一つのきっかけが「磯子の逸品」、こういったものを新しくして外国の方々にも見てもらいたい。また、商店街あるいは沿岸部の企業の皆様とも連携しながら様々な取組を実施しているので、そういった中から情報を得つつ、どういったものが外国の方々の感性にピタッとくるのか探っていきたい。今はSNSなどもあり、ちょっとしたことが外国の方々に流行ったりというものもある。アンテナを高くして、どういうものが外国の方々に共感してもらえるか研究しつつ、克服できるよう取り組んでいきたい。

太田議員 神社、仏閣などには、素敵な庭がある所もたくさんある。例えば、そこで催しを開催するというのも良いと思う。区役所で、磯子区の魅力を発掘して、事業を進めるような部署はどこになるのか。

佐藤区政推進課長 区政推進課で魅力づくりの事業は担当している。「磯子の逸品」についても区政推進課で担当しており、他にもどういった方法がとれるのかというのは考えていきたい。

太田議員 色々考えてもらわないと、関議員が話されたことは実現しないと思うのでよろしくお願ひしたい。また、加藤先生が話された災害時要援護者の名簿も重要なことなので、そちらも、是非お願ひしたい。〈意見〉

【4 さわやかで美しいまち・いそご推進事業】

【米軍住宅跡地活用】

山本議員 資料の中に「クリーン」という言葉がないが、根岸駅前では有志のボランティアの方々が、誰かに言われたわけでもなく清掃活動をしているのを毎朝目にする。磯子駅や洋光台駅でも、実施していると思うが、こういう取組を区役所の方で顕彰してほしい。磯子区ではどこの駅でも実施できるような、きっかけとなる取組を進めてほしいと思う。また、受動喫煙防止のための喫煙場所があった方がいいのか、全くない方がいいのか、いろんな意見があると思うが、これも検討してほしい。

もう一つ、これは意見だが、根岸の米軍住宅跡地の接收解除が間もなくあるという中で、跡地利用基本計画を今年度末までにつくろうということになっている。根岸の米軍住宅跡地は、中区、南区、磯子区にまたがっているが、とりわけ根岸駅に近傍していて、この米軍住宅跡地活用に関しては、根岸駅周辺の街づくりの活性化に大きくつながる部分がある。そういう重要な地域でもあるので、地域の地権者の方々の意見もあると思うが、地域の声を吸い上げながら、根岸駅周辺の街づくりについて、区としても将来を見据えて、街づくりについて議論、検討を進めてほしい。〈意見〉

猪俣区長 駅周辺で日頃から清掃活動をしている地域の方々の力が、磯子区は特に強いと感じる一つの場面だと思う。そうした中で、区として感謝を表すために、積極的な3R推進、美化活動を行っている方々に対しては、「磯子区環境行動推進功労者・行動団体表彰制度」という制度があるので、今後もこの制度を活用するとともに、活動について顕彰していきたいと思う。また、喫煙場所について、喫煙される方々とそうでない方々、様々な意見があると思うが、健康増進法の改正に伴い、今後具体的な方策や基準が出てくると思うので、磯子区の実態に合わせて対応していきたいと思っている。それと、根岸の米軍基地跡地について、一番近い駅は根岸駅になるだろうと思っている。街づくりが進み、基盤整備や交通ルール、輸送需要などが検討される中で、区としても活性化につながるような取組をしていきたいと思っている。今後いろいろと情報収集しながら、区としても対応していきたい。

太田議員 喫煙場所について、タバコが相当規制されていて病院でもどこでも吸えなくなっている。そういう人たちは、建物の外に出てタバコを吸っているが、吸い殻入れなどがないと道路に捨てる人も出てくると思う。区として、駅前だけでなく、禁煙を実施する場所については喫煙場所を設けるとか、少なくとも吸い殻入れを設置するとか、そういうことを検討してみてもどうか。結局、禁煙の法律が先行してしまっていると思う。区役所内はどうしているのか。区役所は外の喫煙場所があるのか。

寒河江総務課長 区役所の敷地内では全面禁煙としている。

太田議員 結局それでは捨てる人が出てくる。自分の灰皿に入れて持って帰るように言っても、中々実行されない。クリーン化に向けて、駅前だけじゃなく、全体的に行わないとだめだと思う。

それから、表彰制度の話があったが、良いことをした人はどんどん区役所で表彰し、そのことを磯子区内に広報する。それが模範となり、他の方々の行動にもつながると思う。〈意見〉

【堀割川の活性化】

太田議員 堀割川に船を泊めてはいけないというのが、なぜ泊めてはいけないのかよく分からない。むしろ一つのアイデアとして、船を泊めてもらい、そのかわり料金を徴収して堀割川魅力づくり実行委員会に補助金を出すなど、堀割川活性化のために活用するのも良いのではないか。少し方向性を変えてみたら良いのではと思う。〈意見〉

加藤議員 今の話の関連で少し心配なのは、堀割川が津波のときに川が氾濫すると違法係留船も含めていろいろ流れてくるのではないかと近隣の方々は心配している。実際、そういうことは事前に想定できるのか。もし想定できるのであれば、そこに船が泊まっていたはいけないと思う。

苅部土木事務所副所長 堀割川に関しては、横浜川崎治水事務所を含む県の機関が管理している。これまで南区の上流から段々と違法係留船を除却しており、現在磯子区に入ってきたという状況。一部を除き、基本的には全て通知をして排除するという方法で活動をしている。東日本大震災の時に、船が流されて氾濫したということがあるので、その危険を回避するために全てを排除する方向で活動をしてい

	<p>る。もちろん津波の大きさにもよるが、今のところ船の係留は危険なため、県あるいは港湾局などと情報共有しながら考えていくべきことかと思っている。</p> <p>【磯子区総合庁舎における浸水対策の強化】</p> <p>太田議員 実際に災害が起こった際に、この庁舎は災害対策本部としての機能や避難者たちが来たりする場所になると思うが、その際、防潮設備があっても区庁舎周辺に津波が押し寄せてきてしまうと区役所の機能は果たせないのではないか。</p> <p>寒河江総務課長 津波はある一定時間過ぎれば引いていくということもあり、避難者の受け入れや拠点活動は可能であると考えている。</p> <p>太田議員 三陸沖地震の時、海岸に近いところの庁舎が壊滅的な状態になったと聞いている。そのような状態になっても人が来られるものなのか。三陸沖地震の時に、海岸線上における公共施設がどう使われたのか、あるいはどう使われなくなったのか、それが分からないと空論に終わると思う。いくら防潮設備があっても、周辺が壊滅的な状況になったら、とてもここで人が生活できる状況にはならないと思う。起こってからでは遅いので研究してほしい。</p> <p>寒河江総務課長 確かに、仮に区庁舎が無事であったとしても、この周辺の建物や道路状況がどうであるか、また、車両が来られるのかどうか、あるいは警察・消防といった関係機関との連携の中で一方の機関が機能するのかどうか、そういったことも大変重要なことなので、指摘されたことを今後研究していきたいと思う。</p> <p>太田議員 研究の結果によっては、いわゆる災害対策本部を庁舎ではなく他の場所に設置する準備をしておかないといけない。よろしく願いしたい。＜意見＞</p>
備 考	<p><u>その他</u> <特になし></p>